

1. さいたま環境創造基金の残高等

		金額 (単位:円)	備 考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	267,022,504	
	内訳	うち、国費相当額	133,511,252
		うち、地方負担相当額	133,511,252
		うち、負担附寄附金等	
②	基金運用益	685,932	
③	その他収入		
④	負担附寄附金等		
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	11,819,712	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	255,888,724	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	
		うち、地方負担相当額	
		うち、負担附寄附金等	

2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備 考
⑧	基金残高		255,888,724	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		90,745,000	
⑩	保有割合		2.820	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	合計	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
			一般財源等	基金充当額				
1	低炭素型ライフスタイル推進事業費	4,344,987	396,000	3,948,987		52%	8,258,000	41,290,000
2	環境学習推進事業費	198,546		198,546		64%	703,000	16,703,000
3	地球にいいことグリーンチャレンジ事業費	7,672,179		7,672,179		75%	6,376,000	32,752,000
4		0						
5		0						
6		0						
7		0						
8		0						
9		0						
10		0						
11		0						
12		0						
13		0						
14		0						
15		0						
合 計		12,215,712	396,000	11,819,712			15,337,000	90,745,000

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	県内の環境保全活動を行う個人、団体、事業者を表彰する彩の国埼玉環境大賞において、環境活動の広がりを示すものとして応募者数を成果指標とする。 目標値は、第1回から第29回 (基金最終年度) までの応募者数の累計を1,261件とする。(年間43件)	
成果実績	1,072件	
目標値	1,261件	
達成度	85%	

令和4年度 事業報告書

事業名	脱炭素型ライフスタイル推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	ライフスタイルキャンペーンの実施、エコライフDAY・WEEKの推進	開始年度	平成17年度
担当部署	環境部 温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

1 目的

夏季及び冬季にライフスタイルキャンペーンを実施し、私たち一人一人のライフスタイルを見直す普及啓発を行い、その中でエコライフDAYへの参加も呼びかけ、家庭におけるCO2削減を進める。

2 目標

エコライフDAYは県内小学校からも省エネの取組の一環として好評であり、県としても夏冬合わせ約10万人の小中学生等へのアプローチができる普及啓発ツールとして重要と考えている。

本県人口も今後は減少に転じる見込みであるが、それでも年間約10万人、令和9年度までに累計で1,400万人にこのエコライフDAYの取組に参加してもらうことを目標とする。

令和3年度からは、紙媒体中心の方法を改め電子申請をメインにインターネットを活用した参加手法で実施している。また、令和4年度からは、省エネに対する意識や行動をより習慣化してもらうため、「エコライフWEEK」を実施している。

2. 概要

1 ライフスタイルキャンペーンの実施

環境に配慮したライフスタイルの実践を広く県民に呼びかけるキャンペーンを実施する。

2 エコライフDAY・WEEKの推進

1日環境家計簿である、エコライフDAYの取組を夏（6月1日～9月30日）、冬（12月1日～3月31日）の2期において学校、事業所、団体をはじめとした方々に実施してもらう。

また、令和4年度からは、省エネに対する意識や行動をより習慣化してもらうため、「エコライフWEEK」を実施する。

3. 根拠法令等

地球温暖化対策の推進に関する法律
 埼玉県地球温暖化対策推進条例
 ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050【改訂版】
 埼玉県環境基本計画（第5次）
 埼玉県地球温暖化対策実行計画（第2期）

4. 実施内容等

【ライフスタイルキャンペーン・実績】

省エネで地球温暖化防止を呼びかけるキャンペーンを実施し、家庭やオフィスでの身近な省エネルギーを呼びかけた。

実施期間：（夏）R4年5月1日～R4年10月31日、（冬）R4年12月1日～R5年3月31日

実施内容：（夏）クールビズの推進、省エネ・節電の呼びかけ、啓発ポスター等の作成・HP掲載
 （冬）ウォームビズの推進、省エネ・節電の呼びかけ、啓発ポスター等の作成・HP掲載

【エコライフDAY・WEEK埼玉2022・実績】

CO2削減量が簡単に計算できるチェックシートを利用して、省エネ・節電など環境に配慮した生活を体験してもらう。

実施期間：（夏）R4年6月1日～R4年9月30日、（冬）R4年12月1日～R5年3月31日

参加者数：（夏）約5万3千人、（冬）約5万1千人

令和4年度 事業報告書

事業名	脱炭素型ライフスタイル推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	ライフスタイルキャンペーンの実施、エコライフDAY・WEEKの推進	開始年度	平成17年度
担当部署	環境部 温暖化対策課	終了年度	令和9年度

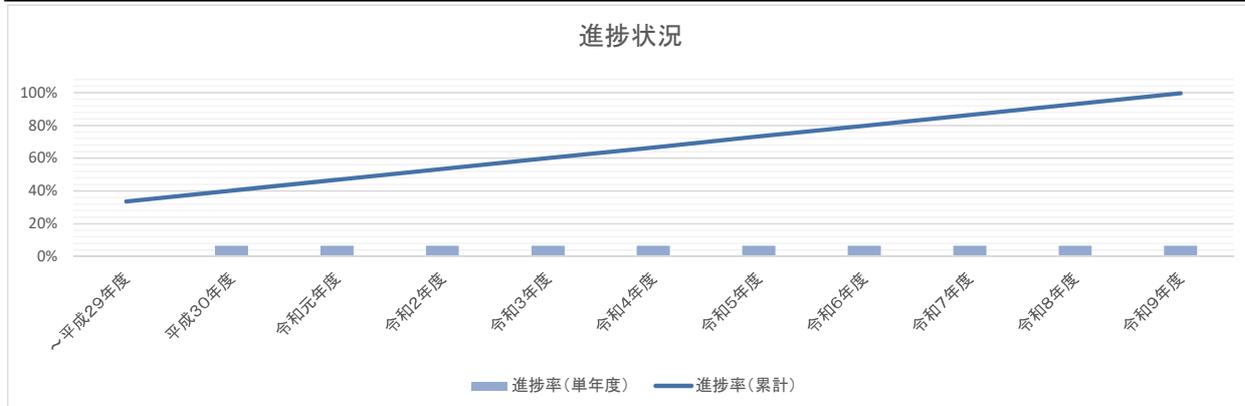
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	398	0	398	
消耗品費	138,066	0	138,066	エコライフDAY参加証、啓発看板代等
印刷製本費	0	0	0	
運搬料・送料	0	0	0	
委託費	0	0	0	
使用料及び賃借料	8,000	0	8,000	
合計	146,464	0	146,464	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		1,183	2,378	2,383	1	146	302	302	302	302	302
事業費(累計)	9,653	10,836	13,214	15,597	15,598	15,744	16,046	16,348	16,650	16,952	17,254

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率(累計)	34%	40%	47%	53%	60%	67%	73%	80%	86%	93%	100%



令和4年度 事業報告書

事業名	脱炭素型ライフスタイル推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地球温暖化防止活動推進員の活動促進	開始年度	平成17年度
担当部署	環境部 温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

- 1 目的
地球温暖化防止活動推進員の研修を充実させ、各地域におけるより効果的な活動を促進する。
- 2 目標
平成24年度から令和9年度までの16年間の地球温暖化防止活動推進員の累計活動日数を110,000日（約6,800日／年）にする。

2. 概要

地域における温暖化防止活動の中核となる地球温暖化防止活動推進員の活動を支援するため、能力向上に資する研修を実施する。

3. 根拠法令等

地球温暖化対策の推進に関する法律
 埼玉県地球温暖化対策推進条例
 ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050【改訂版】
 埼玉県環境基本計画（第5次）
 埼玉県地球温暖化対策実行計画（第2期）

4. 実施内容等

- (1) 研修の実施
研修を実施し、地球温暖化防止活動推進員の資質向上を図るとともに、地球温暖化防止活動推進員及び行政等のネットワーク化を図った。
コロナ禍でも推進員が参加できるようオンラインを主にした研修を行った。
埼玉県地球温暖化防止活動推進員研修（講義・ワークショップ）
実施日：R4年6月4日、7月17日、R5年1月14日、3月5日 参加者：延べ169名
- (2) 活動支援
ホームページ「彩の国環境ネットワークプラザ」による地球温暖化防止活動に関する情報提供やボランティア保険への加入等による活動支援を行った。
HP掲載件数：143件 HPアクセス数：3,777件
- (3) 埼玉県地球温暖化防止活動推進員の活動日数
R4年度活動日数 5,321日／年

令和4年度 事業報告書

事業名	脱炭素型ライフスタイル推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地球温暖化防止活動推進員の活動促進	開始年度	平成17年度
担当部署	環境部 温暖化対策課	終了年度	令和9年度

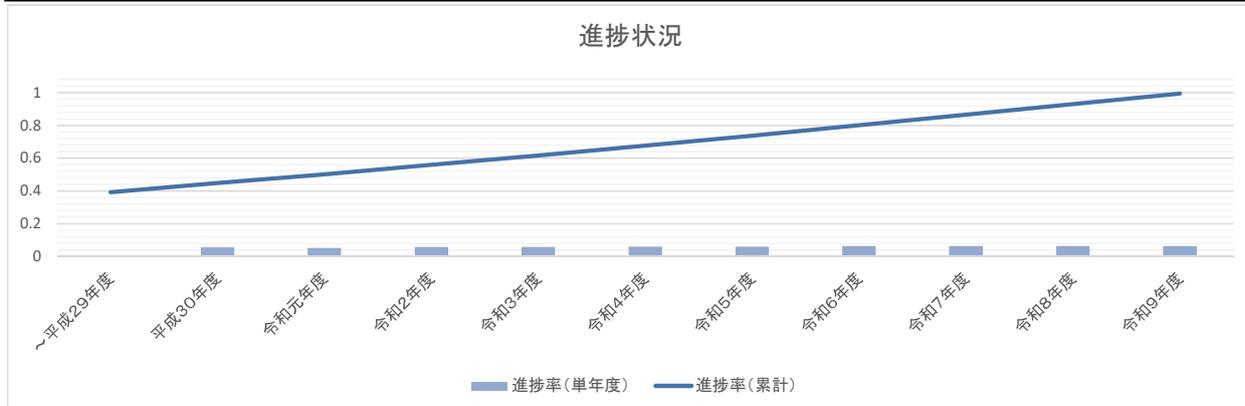
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	6,242	0	6,242	
消耗品費	13,944	0	13,944	
印刷製本費	0	0	0	
委託費	1,649,362	0	1,649,362	推進員資質向上研修委託
通信運搬費	15,522	0	15,522	情報連絡用通信費
保険料	169,400	0	169,400	ボランティア保険
合計	1,854,470	0	1,854,470	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		1,760	1,814	1,763	1,824	1,854	4,956	4,956	4,956	4,956	4,956
事業費(累計)	8,766	10,526	12,340	14,103	15,927	17,781	22,737	27,693	32,649	37,605	42,561

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		6%	5%	6%	6%	6%	6%	6%	6%	7%	7%
進捗率(累計)	39%	45%	50%	56%	62%	68%	74%	80%	87%	93%	100%



令和4年度 事業報告書

事業名	脱炭素型ライフスタイル推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	児童への効果的な環境教育推進事業費	開始年度	平成28年度
担当部署	環境部 温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

1 目的
① 子どもの頃から地球温暖化についての理解を深め、省エネを率先して実行してもらい人材を育成するため、小学校高学年向けに作成した副読本「広げよう！STOP温暖化」を活用した授業の実施を推進する。
② 地球温暖化防止推進員による温暖化の防止、環境問題に関する出前講座を実施し、県民に広く普及・啓発を行う。
2 目標
小学校等への広報活動による授業での活用促進に努め、6年間でのべ2,000の小学校で授業が実施されることを目指す。

2. 概要

① 平成28年度に作成した環境教育副読本及び平成30年度、令和元年度に小学校に委託した副読本を活用した授業の研究結果を、電子化してHP等で提供することにより、広く周知を図ることで副読本を活用した授業の実施校を増やす。
② 地球温暖化防止推進員による温暖化の防止、環境問題に関する出前講座を実施し、県民に広く普及・啓発を行う。今後、小学校においてタブレット端末等の活用が進んでいる現状に対応して、副読本のデータを更新を行うとともにデジタルブック化について検討を行う。

3. 根拠法令等

地球温暖化対策の推進に関する法律 埼玉県地球温暖化対策推進条例 ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050【改訂版】（埼玉県地球温暖化対策実行計画） 埼玉県環境基本計画（第5次）
--

4. 実施内容等

<p>子供のころから率先して省エネを実行できるよう、日常生活のシーンと地球温暖化との関係を漫画化し、分かりやすくした小学校高学年向けに県が作成した地球温暖化対策教育副読本「広げよう！ストップ温暖化」の活用を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内小学校に対して副読本の活用依頼を行い、更なる普及促進を実施。 ・希望する推進員へ副読本を郵送で配布 ・県内小学校において、副読本を活用した県政出前講座を実施
--

令和4年度 事業報告書

事業名	脱炭素型ライフスタイル推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	児童への効果的な環境教育推進事業費	開始年度	平成28年度
担当部署	環境部 温暖化対策課	終了年度	令和9年度

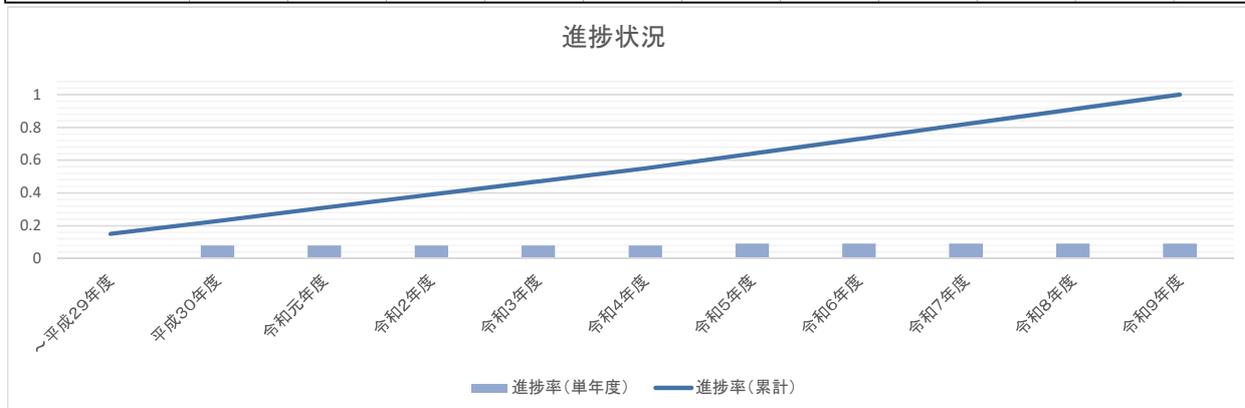
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	4,276	0	4,276	
消耗品費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
委託契約料	0	0	0	
通信運搬費	5,555	0	5,555	温暖化対策教育副読本送料
報償費	0	0	0	
合計	9,831	0	9,831	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		1,683	1,310	73	0	10	371	371	371	371	371
事業費 (累計)	3,970	5,653	6,963	7,036	7,036	7,046	7,417	7,788	8,159	8,530	8,901

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		8%	8%	8%	8%	8%	9%	9%	9%	9%	9%
進捗率 (累計)	15%	23%	31%	39%	47%	55%	64%	73%	82%	91%	100%



令和4年度 事業報告書

事業名	脱炭素型ライフスタイル推進事業費	新規・継続区分	新規
事項名	家庭の省エネ対策の強化	開始年度	令和2年度
担当部署	環境部 温暖化対策課 総務・エコライフ推進担当	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

- 1 目的
研修を修了した地球温暖化防止活動推進員による「家庭の省エネ相談会」をショッピングモールや公共施設、イベント等の場を活用して実施するなど、家庭における温暖化対策の強化を図る。
- 2 目標
省エネ相談会利用者数について、年間300人以上、令和9年度までの累計で2,100人とするを目標とする。

2. 概要

県が委嘱している地球温暖化防止活動推進員を活用し、ショッピングモールや公共施設、イベント等の場を活用して「家庭の省エネ相談会」を開催する。家庭における省エネ対策を、身近な場所で各家庭からの具体的な相談に応じることにより、県内に広く普及していく。

3. 根拠法令等

地球温暖化対策の推進に関する法律
 埼玉県地球温暖化対策推進条例
 ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050【改訂版】
 埼玉県環境基本計画（第5次）
 埼玉県地球温暖化対策実行計画（第2期）

4. 事業内容等

【省エネ相談員養成研修】
 相談会実施に先立ち、相談員を対象とした事前説明会を実施。相談員はナッジへの理解を深めるとともに、効果的な表現方法を学び、診断技術の向上につなげた。
 開催日：参加者 R4年8月27日：24人、9月18日：30人

【相談業務の実施】
 省エネ相談員が、各家庭の電気・ガスなどの使用状況をヒアリングし、省エネのポイントや改善策についてアドバイスを実施。県内のイベントやショッピングモール等で行う相談会で直接相談に応じるほか、事前調査票をもとに書面相談も実施。
 実施期間：R4年6月～R5年1月
 相談実績：611人、相談会12回開催

令和4年度 事業報告書

事業名	脱炭素型ライフスタイル推進事業費	新規・継続区分	新規
事項名	家庭の省エネ対策の強化	開始年度	令和2年度
担当部署	環境部 温暖化対策課 総務・エコライフ推進担当	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	13,222	0	13,222	
印刷製本費	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	
委託料	1,925,000	396,000	1,529,000	家庭の省エネ相談会開催業務委託
補助金償還金	0	0	0	
合計	1,938,222	396,000	1,542,222	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)				498	993	1,938	2,629	2,629	2,629	2,629	2,629
事業費 (累計)				498	1,491	3,429	6,058	8,687	11,316	13,945	16,574

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)				13%	13%	13%	13%	13%	13%	13%	13%
進捗率 (累計)				13%	25%	38%	50%	63%	75%	88%	100%



令和4年度 事業報告書

事業名	環境学習推進事業費	新規・継続区分	継続
事項名	人材登録制度による環境学習の支援・環境学習応援隊派遣事業・環境学習連携推進業務	開始年度	平成5年度
担当部署	環境部 環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

県民や企業との連携のもと、環境保全への意欲の増進や学校や地域における環境学習支援の充実を図り、環境保全に主体的に参画する人材の育成を推進する。

○目標値：平成24年度から令和9年度までの累計受講者数 307,000人

※「埼玉県環境基本計画」の目標値を踏まえ、令和4年度以降の受講者数の目標値は、各年度とも埼玉県の0歳～14歳の推計人口との比率を2.36%以上として算出した。

2. 概要

【人材登録による環境学習の支援】

環境に関する専門的な知識や環境教育に関する豊富な経験を有する方を「環境アドバイザー」として登録し、学校や地域住民が主催する講演会や自然観察会等の環境学習の支援を行う。

【環境学習応援隊派遣事業】

環境問題に関心が高く、独自の環境学習プログラム等を持つ企業等を「環境学習応援隊」として登録し、企業等が持つ環境保全のノウハウや学習プログラムの提供を通して、学校における発展的な環境学習を支援する。

【環境学習連携推進業務】

環境学習施策の体系的な広報等

3. 根拠法令等

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、埼玉県環境基本条例

4. 実施内容等

- 活動・派遣：環境アドバイザー活動 206件、受講者数 14,391名
環境学習応援隊派遣 25件、受講者数 1,702名
- 環境学習のススメ（パンフレット）の作成及び配付
（県内全小中学校、高等学校、放課後児童クラブ、保育園、幼稚園、市町村等配付）
- 環境アドバイザー登録者の保険加入（154名分、1年間）

令和4年度 事業報告書

事業名	環境学習推進事業費	新規・継続区分	継続
事項名	人材登録制度による環境学習の支援・環境学習応援隊派遣事業・環境学習連携推進業務	開始年度	平成5年度
担当部署	環境部 環境政策課	終了年度	令和9年度

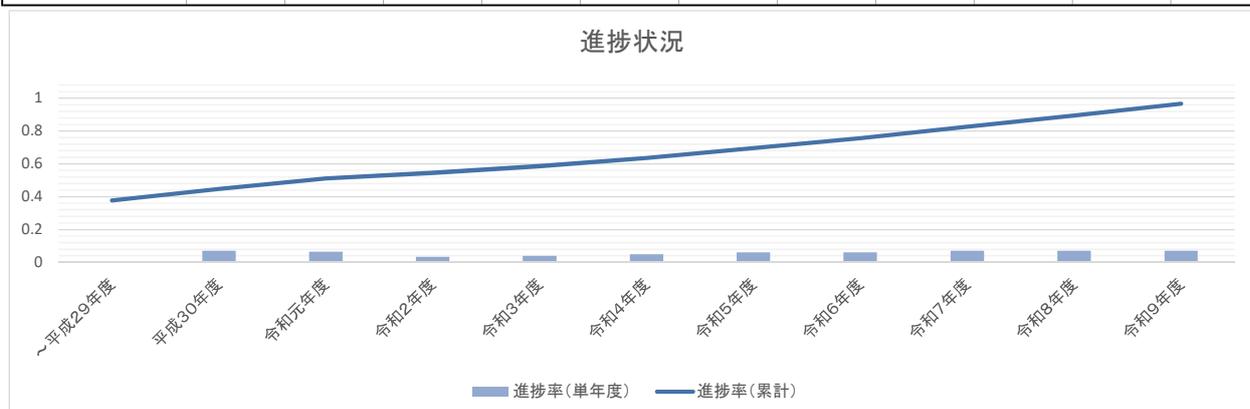
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	34,500		34,500	アドバイザーの謝金
職員旅費	16,886		16,886	アドバイザーの活動視察・取材等の職員旅費
消耗品費	0		0	
印刷製本費	0		0	
通信運搬費	15,000		15,000	環境学習資料郵送代
手数料	66,000		66,000	環境学習パンフレットデザイン費
保険料	66,160		66,160	アドバイザー保険料
使用貸借料	0		0	
合計	198,546	0	198,546	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		3,967	3,569	1,948	2,229	199	703	4,000	4,000	4,000	4,000
事業費(累計)	17,193	21,160	24,729	26,677	28,906	29,105	29,808	33,808	37,808	41,808	45,808

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		6%	5%	6%	6%	6%	6%	6%	6%	7%	7%
進捗率(累計)	39%	45%	50%	56%	62%	68%	74%	80%	87%	93%	100%



令和4年度 事業報告書

事業名	地球にいいことグリーンチャレンジ事業費	新規・継続区分	継続
事項名	地球にいいことグリーンチャレンジ活動への助成	開始年度	平成20年度
担当部署	環境部 環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の環境意識の醸成を図るとともに、環境保全活動に積極的に関わろうとする態度を養う。 <p>○目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもエコクラブの活動の円滑な実施 ・平成20年度から令和9年度までの累計補助団体数：延べ600団体（県内約120団体に対し、各5回ずつ助成）

2. 概要

<p>○こどもエコクラブを対象に、環境学習や環境保全に関する事業を募集し活動経費を助成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：子どもたちの環境意識の醸成を図る活動や、子供たちが参加する環境保全活動の充実を図るための活動等で、次の要件を備えている事業。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 子供たちの発達段階に即した体験的、実践的な活動である。 (2) 事業の内容や実施方法が適切で、成果が期待できる。 (3) 事業の実施により、当該地域における環境に関する取組の発展が期待できる。 (4) 地域の緑や水辺環境を守り、育てることにつながる取組である。 (5) 他の補助金・助成金等を受けていないこと。 <p>○助成金額： 上限20万円</p>

3. 根拠法令等

<p>○環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律</p> <p>○こどもエコクラブ活動支援事業助成金交付要綱</p>

4. 実施内容等

<p>○こどもエコクラブを対象に、環境学習や環境保全に関する事業を募集し活動経費を助成する。</p> <p><令和4年度実績></p> <p>交付団体数 45団体</p> <p>交付額総額 5,619,263円（1団体当たり平均約125千円）</p>

令和4年度 事業報告書

事業名	地球にいいことグリーンチャレンジ事業費	新規・継続区分	継続
事項名	地球にいいことグリーンチャレンジ活動への助成	開始年度	平成20年度
担当部署	環境部 環境政策課	終了年度	令和9年度

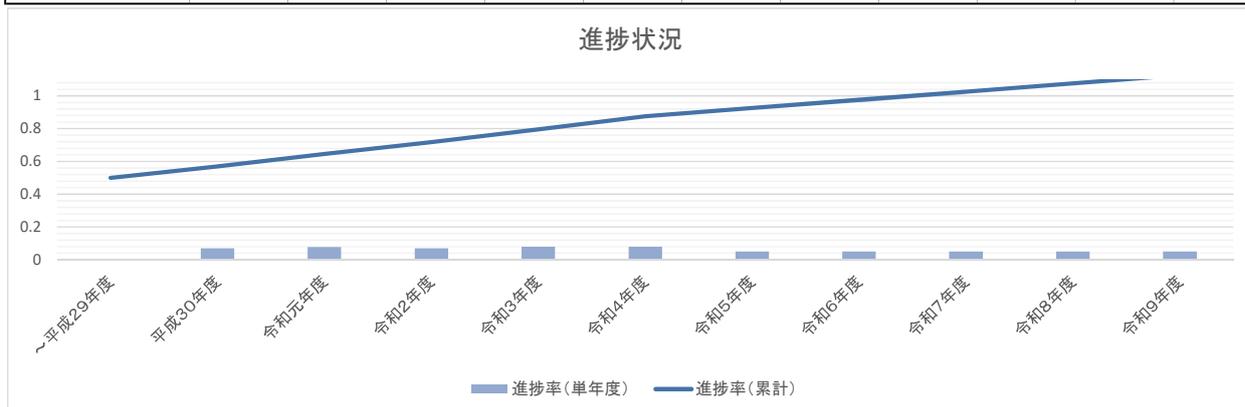
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
補助金	5,619,263	0	5,619,263	45団体、平均125千円
合計	5,619,263	0	5,619,263	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		5,936	5,902	5,438	5,431	5,619	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
事業費(累計)	29,791	35,727	41,629	47,067	52,498	58,117	64,117	70,117	76,117	82,117	88,117

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	8%	7%	8%	8%	2%	2%	2%	3%	3%
進捗率(累計)	50%	57%	65%	72%	80%	88%	90%	92%	94%	97%	100%



令和4年度 事業報告書

事業名	地球にいいことグリーンチャレンジ事業費	新規・継続区分	継続
事項名	こどもエコフェスティバルの開催	開始年度	平成18年度
担当部署	環境部 環境政策課	終了年度	令和4年度

1. 目的及び目標（値）

こどもエコクラブの活動を広くPRする機会を提供するとともに、児童生徒の環境意識の醸成を図り、環境保全活動に積極的に関わろうとする態度を養うため、こどもエコフェスティバルを開催する。

○目標値：平成26年度から令和9年度までのこどもエコフェスティバルの累計来場者数を15,920人とする。

平成29年度の開催状況から、同程度の来場者数を維持することとし、目標値を設定。

平成26年度～平成29年度 累計来場者数：2,920人

平成30年度～令和9年度 累計来場者数：13,000人（1,300名×10年間）

2. 概要

こどもエコフェスティバルの開催

3. 根拠法令等

環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律

4. 実施内容等

こどもエコクラブの活動を広く一般にPRするため、ステージでの活動発表や展示による活動紹介を行う。あわせて、県内の企業や環境活動団体によるワークショップ等を実施し、親子で楽しみながら環境活動を身近に感じてもらうイベントを開催している。

<SAITAMA環境フェア&こどもエコフェスティバルの実施>

日時：令和4年11月26日（土）11：00～16：00

会場：コルスホール（浦和CORSO7階）

内容：ステージショー、体験・展示コーナー、こどもエコクラブの活動発表等

来場者：287人

令和4年度 事業報告書

事業名	地球にいいことグリーンチャレンジ事業費	新規・継続区分	継続
事項名	こどもエコフェスティバルの開催	開始年度	平成18年度
担当部署	環境部 環境政策課	終了年度	令和4年度

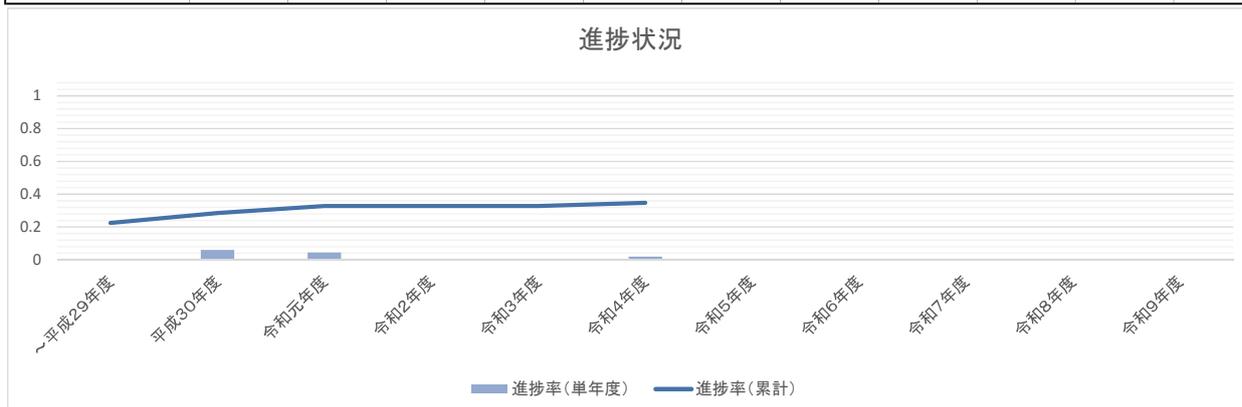
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	1,815,000	0	1,815,000	イベント企画・運営業務委託料
合計	1,815,000	0	1,815,000	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		1,280	1,299	0	0	1,815					
事業費(累計)	5,215	6,495	7,794	7,794	7,794	9,609					

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		6%	4%	0%	0%	2%					
進捗率(累計)	23%	28%	33%	33%	33%	35%					



令和4年度 事業報告書

事業名	地球にいいことグリーンチャレンジ事業費	新規・継続区分	継続
事項名	彩の国埼玉環境大賞表彰事業	開始年度	平成11年度
担当部署	環境部 環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的	
・環境保全に関する意識の醸成及び行動の促進を図るため、個人、県民団体及び事業者による他の模範となる優れた取組を表彰する。	
○目標（値）	
・県民に環境保全に関する意識が十分に醸成され、多くの個人、団体、事業者が環境保全に取り組む社会の実現。	
・第1回から第29回までの応募者数累計1261件 (年間43件)	
平成11年度～平成30年度	累計応募数（実績）： 874件
平成30年度～令和9年度	累計応募数（見込）： 387件（43件×9年間）
計	応募数： 1,261件

2. 概要

○「県民部門」	
・河川・湖沼、緑地など身近な自然に対する保全活動	
・身近な自然の創造を行う先進的な活動	
・省資源、省エネルギーなど地球温暖化に配慮した活動	
・ゴミの減量化・リサイクルによる資源循環型社会の構築に資する活動	
・環境学習等の環境保全意識の高揚に資する活動 など	
○「事業者部門」	
・環境に関する社会貢献活動	
・環境マネジメントシステムの導入や製造工程など事業活動における環境負荷低減の取組	
・環境の保全や創造に貢献する特に優れた製品やサービスを提供する事業	
・その他環境負荷の低減に関して有効な活動 など	

3. 根拠法令等

環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律

4. 実施内容等

○令和4年度の実施概要
・候補者募集：令和4年7月11日（月）～9月30日（金）
・応募件数：県民部門35件、事業者部門28件、計63件
・審査会：令和4年11月25日（金） 於テレビ埼玉
・受賞者：大賞2、優秀賞10、奨励賞10、計22組
・表彰式：令和5年2月9日（水） 於知事公館

令和4年度 事業報告書

事業名	地球にいいことグリーンチャレンジ事業費	新規・継続区分	継続
事項名	彩の国埼玉環境大賞表彰事業	開始年度	平成11年度
担当部署	環境部 環境政策課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
消耗品費	50,500	0	50,500	表彰式用消耗品
職員旅費	2,180	0	2,180	
印刷製本費	68,640	0	68,640	募集リーフレット、受賞者紹介リーフレット
通信運搬費	17,376	0	17,376	リーフレット送付料
筆耕翻訳料	99,220	0	99,220	表彰状作成
合計	237,916	0	237,916	(単位：円)

年度(単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		423	300	430	393	238	376	594	594	594	594
事業費(累計)	1,588	2,011	2,311	2,741	3,134	3,372	3,748	4,342	4,936	5,530	6,124

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		4%	3%	4%	3%	4%	2%	3%	3%	3%	3%
進捗率(累計)	66%	69%	73%	77%	80%	84%	86%	90%	93%	96%	100%

